

慶留間島のケラマジカ研究

中村和寛、大村加奈子、渡口怜
座間味村立慶留間小学校3年

1. 研究題名

ケラマジカーシカの歩き方ー

慶留間小学校 3年 大村加奈子

2. 目的、動機

山の中でシカたんけんをしていると、坂道にすべりあとのようなものがありました。その先を見てみると、最近やったと思われるシカの角のときあとが細い木にありました。だから、このすべりあとはシカがすべったのではないかと考えました。シカは山でも平らな道でもどうやって歩いているのか調べようと思いました。

3. 方法、内容

歩き方を調べるために、よくシカが目げきされる教員住たくの辺りに、砂をまきました。そして、シカをおびきよせるように、シカが食べそうなエサをペットボトルに置いてシカの足あとがつくようにしました。エサはシカが食べそうなクロツグ、クワの葉、ハイビスカスを置きました。

実験是和寛さんと研究がにているのでいっしょに行いました。

4. 結果



次の日の朝見てみると、足あとが2つ残っていました。足の形もはっきり見えました。足のはばは30cmくらいありました。エサもクワの葉、ハイビスカスが食べられていましたがクロツグは食べられていませんでした。エサを引っぱったのかペットボトルがたおれていました。また、足の向きはクワの葉が置いてあったペットボトルに向かっていました。



5. 考察

山の中でのすべりあとは1メートルくらいありました。私たちも山を下るときは足はばを小さくしながら歩くので、シカも山の中では歩きにくいと予想していました。

実験の結果、シカの歩く足はばが30センチくらいあることが分かりました。でも、エサを食べるときはゆっくり歩いていると思います。だから走るときや坂道を上るとき、下るときは同じ足はばで歩いているのか調べてみたいです。



1. 研究題名

ケラマジカーシカの身長—

慶留間小学校 3年 渡口怜

2. 目的、動機

ぼくのお家のまわりでは、たくさんシカが見れます。オスもメスも見たり、小さいシカもよく見かけます。何回も見ているうちにいつも同じシカとはかぎらないことが分かってきました。

シカを見分けるときに大きさで見分けるので、シカの身長を調べてみたいと思いました。

3. 方法、内容

シカ探検でいつも行っている山の中で、角のときあとがある木をたくさんさがして巻き尺で高さをはかりました。



4. 結果

10本の木の角のときあとを調べました。

①	②	③	④	⑤
76cm	1 m 3 7 cm	1 m 33cm	1 m 17cm	83cm
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1 m 17cm	1 m 30cm	1 m 28cm	1 m 10cm	93cm

5. 考察

調べた結果、身長は高いシカもいれば、低いシカもいることが分かりました。1番低いときあとと1番高いときあとの差は、61cmありました。ぼくは、120cm以上は大人で、110cm以下は子どもだと思います。

また、角のときあとがある木は3しゅるくらいで、木の皮がその3しゅるいはにっていました。少しかたかったです。

今回は角のあるオスだけの身長をはかっていることに気づきました。今度はメスの身長もはかってみたいです。



1. 研究題名

ケラマジカーシカの足ー

慶留間小学校 3年 中村和寛

2. 目的、動機

山の中でシカたんけんをしていると、シカの足あとがありました。土にめりこんで、よく形がわからなかったのですが、ちゃんと足あとをみたいと思いました。そして、シカはどんな足をしているのか、他の動物の足とどうちがうのか調べたくなりました。

3. 方法、内容

よく、シカが目げきされる、教員住たくの辺りに、砂をまきました。そして、シカをおびきよせるように、シカが食べそうなエサをペットボトルに置いてシカの足あとがつくようにしました。エサはシカが食べそうなクロツグ、クワの葉、ハイビスカスを置きました。

実験は加奈子さんと研究がにているのでいっしょに行いました。



4. 結果



次の日の朝見てみると、足あとが2つ残っていました。足の形もはっきり見えました。足あとは6cmぐらいの大きさでした。エサもクワの葉、ハイビスカスが食べられていましたがクロツグは食べられていませんでした。



5. 考察

しかけを作っているときに、加奈子さんのお父さんのヤギの足あとを見つけました。大きさは9cmでシカよりも大きかったです。シカの足はハートみたいな形をしていてヤギの足の形がにているけれどちがうことがわかりました。また砂をふんだときの深さがちがうことがわかりました。

この足あとを残したシカは、オスなのかメスなのかを調べてみたいです。また、足あとはヤギよりも小さいけれど身長はどっちが大きいのかを調べてみたいです。

